

# 「t e t o t e」NEXT 八王子織物プロジェクト 2016

多摩美術大学美術学部生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻と

八王子織物工業組合は、2012年度より産学共同研究「NEXT 八王子織物プロジェクト」をスタートしました。

八王子織物の活性化を目指し新製品の開発に取り組み、

2016年度は、機(はた)屋 6社とテキスタイルデザイン専攻3年の織物を学ぶ学生20名が協働して立ち上げた  
架空の6ブランドのアイテムが生まれました。

2016年度プロジェクトのまとめとしての展覧会「t e t o t e」には、

職人の手と使い手をつなぐ架け橋になることができるといふ学生達の思いが込められています。

長い伝統に支えられた技術力に学生の新鮮な発想力が加わり、

八王子織物の特色を活かしたクリエイションが展開されています。皆様、是非足をお運び下さい。

※作品と同じ生地を使ったネクタイなどを販売いたします。

## 学生によるブランド紹介

### Rinear

内田長織物有限会社(内田昭臣)

×

大村晋二郎、西嶋望、前濱慧

「Rinear」とは、直線の意味の Linear と凜の音の Rin を掛け合わせたブランド名です。苦境の中でも咲く様が強く美しい「コンクリートに咲く花」にイメージを託して、身につけることにより、心があらたまり気も引き締まる着物を制作しました。着物より浴衣のほうが身近な現在において、若い人にもっと着物を身近に感じてもらうため、浴衣の着方を着物に取り入れ、浴衣と着物の間のような現代における新しい着物スタイルを提案します。着物の柄には力強く凛とした女性をイメージして、コンクリートに咲く花をモチーフに、無機質なコンクリートの質感と花の繊細なかたちと鮮やかな色をデザインに取り入れました。

### caroe

有限会社澤井織物工場(澤井伸)

×

位下そよか、金澤もも、小林萌寧

私達はこのプロジェクトを通して布作りの多彩さと、後加工技術に大きな可能性を感じ、ブランド名のカロエを加工の漢字から名付けました。「光」をコンセプトに製作された生地は、私たちの手で後加工を施し、仕上げています。「光を持ち歩くということ」をテーマに、持つ人を惹き付け、照らしてくれるようなイメージでバッグを制作しました。20代女性を意識し、特別な日や自分が輝きたい瞬間に使ってもらいたいこと、長く大切にに使ってもらいたいという思いを込めてデザインしました。また、使いやすい大きさと、ポップな形にも拘り、このバッグを通して、現在も八王子でユニークな織物生産が行われていることを知っていただければと考えています。

### POPO

栄和織物株式会社(中山謙二)

×

鴫田芽依子、河崎日菜子、宮崎桜子

POPO とはアクセント、持ち運ぶという意味の point と portable の2つの単語を組み合わせた造語です。現代において、若い人にとって敷居が高く感じる着物を身近に感じてもらいたいと思い、装いのアクセントとなる帯、巾着と鼻緒に焦点を当て、着物をカジュアルで親しみが持てるよう提案します。風変わりで一見不思議な生物の様々なテクスチャーからインスピレーションを受け、見た目、手触りの面白さを意識して3種類の生地をデザインしました。身につけることでまるで新しい体の一部となるようなおもしろさを感じられるよう、繊細な柄を大胆に見せる帯と巾着、鼻緒のコーディネートを考えました。

### Bemm

設楽織物有限会社(石澤美佐子)

×

吉井琴波、鶴見朋世、野田成海、中尾春香

「Beyond the common」から文字を取り「Bemm」。「ふつうのその先へ」をコンセプトとしたブランドです。この「ふつう」とは「伝統や受け継がれてきたもの」を示します。やがて私たちに馴染み、身近な存在となり日常に溢れるものの一部になった「ふつう」をひろいあげて、その魅力をデザインしワクワク感や嬉しさを感じられる八王子織物の新しい商品展開を目指します。時と共に形成されていく中で生まれ、それぞれ異なった物語を持つ石をモチーフにデザインした4柄をジャカード織機で製作し、休日のプラスワンアイテムとして、お財布や携帯などの必需品が入るショルダーバッグへ展開しました。

### am A

岡村織物(岡村秀基)

×

長谷部まり杏、白藤美緒、根岸茉央、斎藤美綺

「I am」, 「You are」私とあなた

八王子の伝統を守り、作り手の思いを現代の新たな使い手に繋げることをコンセプトにブランド「am A」を立ち上げました。ジャカード織を特徴とする八王子織物の技術力を活かし、生地に遊び心がありながらもフォーマルな場面を意識し、小学生の女の子をターゲットとし、シルク素材の上質な子供服を提案します。薄れゆく伝統を大切にしてほしいという願いを込め、八王子織物伝統の縞模様を生かし、異なるテクスチャーや素材、色で表現することにより2種類の図案からそれぞれ2配色展開の生地をデザインしました。幼い頃から美しい服に親しむことで、親から子へと伝統的な織物の良さを伝え、何世代にも渡って大切に受け継がれていくことを目指します。

### ヒトツカ

田口織物工場(田口造治)

×

松橋脩造、小林ななみ、厳悦

「ふとした瞬間に思い浮かべる夢のような楽しい世界」をテーマに「ヒトツカ」というメンズファッションブランドを提案します。ヒトツカという言葉には、ほんのわずかな時間という意味があります。日常の多忙な生活の中でも、わずかな休日には楽しいデザインの服を着てわくわくして欲しいという願いを込めました。遊園地をモチーフに、カットジャカードの色彩豊かで伸びやかな大柄の服地を2柄4種類製作しました。「自由に動き回るジェットコースター」柄のロングコートとワイドパンツ、「夜の観覧車のネオン」柄のロングシャツとマントは、20代の男性へ向けた休日のオシャレ着を提案します。